



公益社団法人
東京都医師会



東京都



東京商工会議所
The Tokyo Chamber of Commerce and Industry

感染症対応力向上プロジェクト 実施報告書

東京商工会議所 ビジネス交流部

2021年1月26日

I. プロジェクト概要

1. 目的

職場で感染症が発生した場合、職場内で感染が広がることが危惧され、インフルエンザやノロウイルス等の身近な感染症により、企業活動に支障が出ることがある。平成 24 年から 25 年にかけての大規模な風しんの流行では、患者の大多数が働く世代であった。本プロジェクトでは、東京都、東京都医師会、東京商工会議所が連携し、企業の感染症対策を支援するものである。

2. 実施計画

1) 事業開始時期

平成 27 年 10 月開始。

2) プロジェクトの内容

感染症に対する必要な知識の習得、風しん予防対策などを実践するために、3 コースを提示し、企業・事業所の取り組みを促進する。

	コース名	サポート内容	達成基準
コースⅠ	感染症理解のための従業員研修	感染症の基礎知識ドリル（研修教材）を提供し、正しい知識の定着を図る。	従業員の 8 割以上が教材受講
コースⅡ	感染症 BCP（業務継続計画）の作成	BCP のひな形を提供し、職場で感染症患者が発生した場合に、業務を円滑に継続するための対処策の作成を図る。	事業所単位での BCP 作成
コースⅢ	風しん予防対策の推進	予防接種等協力医療機関を紹介し、従業員の抗体（免疫）保有の確認や予防接種の推奨等を促し、職場ぐるみで風しん予防を図る。	風しん抗体保有者が従業員の 9 割以上

3) 事業所が取り組むコースの流れ

- ① 都内企業等に事業周知、事業説明会の開催、事業案内送付
- ② 都内企業・事業所が参加申し込み ⇒ 東京都 HP に協力企業・事業所として掲載
- ③ コース実施
- ④ 基準達成 ⇒ 報告書提出 ⇒ 東京都 HP に達成企業・事業所として掲載

4) 東京商工会議所における プロジェクト推進活動

（1）教材のアップデート

- コースⅠ・Ⅱの新型コロナウイルス感染症対応

（2）告知・PR活動

- 動画による事業説明会の実施
- 東商新聞・同報 F A X・メールマガジン等での告知

（3）達成フォロー

- BCP 策定オリエンテーションの実施（毎月 1 回）

Ⅱ. プロジェクト推進状況

(1) 教材のアップデート

1. コースⅠ・Ⅱの新型コロナウイルス感染症対応

1) コースⅠ

令和2年8月より、必須コースに新型コロナウイルス感染症（5問）を追加した。

	科目	設問数
必須	感染症の基礎知識	5
	風しん	7
	インフルエンザ	5
	ノロウイルス	5
	新型コロナウイルス感染症	5
選択	結核	5
	鳥インフルエンザ／新型インフルエンザ	5
	デング熱・ジカウイルス感染症（蚊媒介感染症）	5
	海外渡航関連	5
	性感染症	5
	エボラ出血熱・MERS	5
	計	57

2) コースⅡ

令和2年8月より、新型コロナウイルス感染症に対応するためBCPのひな型・ガイドを下記のように修正した。

- ①発生時における対応を、段階的な取り組みに修正
- ②①に伴い「感染症対策の発動条件の設定」を基本事項の整理に追加
- ③「事前に確認しておくべき業界ガイドライン・社内ルール・設備など」を基本事項の整理に追加
- ④「新型コロナウイルス参考資料集」を参考資料集に追加
- ⑤その他、参考資料集の最新化など

— 目 次 —

第1章 基本方針

No.1 策定の目的

No.2 目標

第2章 基本事項の整理

No.3 BCP責任者等の設定

No.4 職場における感染症発生・まん延の要因（リスク要因の洗い出し）

No.5 職場において特に想定する感染症の設定

No.6 感染症対策の発動条件（感染症の発生段階）の設定（②）

No.7 継続を図るべき重要業務と休止・縮小する業務

No.8 感染症対応に必要な備品類

No.9 事前に確認しておくべき業界ガイドライン・社内ルール・設備など（③）

第3章 普段の取組

No.10 普段の取組

第4章 感染症発生時における対応（①）

No.11 第一段階 海外発生期対応

No.12 第二段階 国内発生早期対応

No.13 第三段階 感染拡大期、まん延期対応

No.14 第三段階 自社で患者が発生、拡大・まん延対応

第5章 B C Pの検証

No.15 B C Pの取組状況確認と見直し

参考資料集

参考資料1 感染症の主な感染経路と感染防止策

参考資料2 職場で危惧される感染症の例（一覧）

参考資料3 出勤差し控え期間（目安）設定の参考

参考資料4 感染症流行状況等の情報入手先リスト

参考資料5 感染症への対応方法に関する参考サイト

参考資料6 新型コロナウイルス参考資料集（④）

（2）告知・P R活動

1. 動画による事業説明会

1) 事業説明会開催概要

新型コロナウイルス感染症の影響で、動画による開催とした。

① 説明会の内容

- 基調講演（別表）。

専門家による新型コロナウイルス感染症対策の最新情報の提供。その時期の最新の情報を届けるため、各回の視聴期間を1か月に設定した。（昨年同様、全4回）

- 東京都福祉保健局より、本事業の目的、内容の説明（従来通り）
- 東京商工会議所より、事務手続き（申込、達成報告等）の説明（従来通り）

②集客方法

東京商工会議所ホームページ（健康経営倶楽部）および東商メールマガジンによる告知

<令和2年度基調講演のテーマと講師>

日付	テーマ	講師
7/29 ～8/28	職場における感染症対策 ～新型コロナウイルスを中心に	東京医科大学病院 渡航者医療センター 濱田 篤郎 氏
8/19 ～9/18	職場・職域における感染症対策 ～新型コロナウイルス感染症を中心に～	日比谷クリニック 副院長 加藤 哲朗 氏
10/30 ～11/30	職場における感染症対策と 新型コロナウイルス感染症	東京慈恵会医科大学 感染制御科 堀野 哲也 氏
12/21 ～1/25	感染症 企業に求められる対応	株式会社レスキューナウ危機管理研究所 市川 啓一 氏

2) 事業説明会の参加状況（令和2年12月28日現在）

申込者は451名、閲覧数は以下となった。

<令和2年度事業説明会申込者・閲覧数等>

期間	開催内容（講師）	申込者	閲覧数	閲覧率	アンケート回答数
7/29～8/28	職場における感染症対策（濱田先生）	※333	411	—	—
8/19～9/18	職場・職域における感染症対策（加藤先生）	※114	199	—	—
10/30～11/30	職場における感染症対策（堀場先生）	※79	183	—	—
12/21～1/25	感染症企業に求められる対応（市川先生）	※44	211	—	—
7/29～	事業説明（東京都）	451	264	58%	—
7/29～	事業説明（東京商工会議所）	451	165	36%	—
令和2年度合計		451			39
		申込者	出席者	出席率	アンケート回答数
（参考）令和元年度合計		495	382	77%	318
（参考）平成30年度合計		480	395	82%	302
（参考）平成29年度合計		402	300	75%	262
（参考）平成28年度合計		362	276	76%	213
（参考）平成27年度合計		444	355	80%	234

※各回の申込者は、参考として、前の動画の閲覧期間の最終日からその動画の閲覧期間の最終日までの申込人数（受講者の申込手続を簡素化する為、一度申込が完了すると、視聴ページにて以降の講演も受講可能となっている）

3) アンケート回答 39件

Q. 講演の内容の分かりやすさはいかがでしたか。（有効回答38）

	第1回	第2回	第3回	第4回	東京都	事務局
分かりやすかった	14	13	25	8	4	12
やや分かりやすかった	0	9	4	0	5	4
普通	0	0	0	0	1	3
やや分かりにくかった	0	0	0	0	0	0
分かりにくかった	0	0	0	0	0	0

<意見>

第1回 とても著名な先生の講演をありがとうございました。（分かりやすかった）

第2回 現場の先生のお話を聞いて、大変参考になりました。（分かりやすかった）

第3回 とても聞き取りやすい講演でした。（分かりやすかった）

第4回 感染者数の波を押さえることの大切さが海外の事例を踏まえても良く分かった。（分かりやすかった）
企業のすべき対応を明確にお示し頂いた点（分かりやすかった）

Q. 講演の内容は役に立ちましたか。(意欲が高まった) (有効回答 38)

	第1回	第2回	第3回	第4回	東京都	事務局
役に立った(意欲が高まった)	14	11	10	7	0	1
やや役に立った(やや意欲が高まった)	0	10	6	0	4	11
普通(意欲は変わらない)	0	1	2	1	6	7
やや役に立たなかった(意欲がややなくなった)	0	0	1	0	0	0
役に立たなかった(意欲がなくなった)	0	0	0	0	0	0

<意見>

第1回 病気としての感染症のことが理解出来た。(役に立った)

感染者数が再度増えていた中で、最新の情報がわかった。(役に立った)

第2回 社内での対策の普及啓発に役立ちました。(やや役にたった)

第3回 企業としての最善の策は、対策の積み重ねということが改めて痛感しました。(役に立った)

最後のお話が改めて大切と感じました。(やや役に立った)

第4回 今すべきことが明確に分かった。(役に立った)

Q. 今後、感染症に関するどのようなテーマ(内容)の講演を聞きたいですか。(有効回答 38、複数回答)

テーマ	回答数	構成比
社内に感染症が発生した時の対応	32	82%
他社の対策事例	32	82%
PCR検査・抗体検査の実施体制の構築(補助金等も含む)	28	72%
感染症BCP策定	26	67%
海外渡航に関する動向	15	38%
外国人労働者の受入基準	14	36%
産業医や産業保健職との連携	11	28%
インバウンド対策(サービス・小売業等)	6	15%
その他	0	0%

Q. ウェブ配信形式の動画の受講しやすさはいかがでしたか。

選択肢	回答数	構成比
受講しやすかった	25	64%
やや受講しやすかった	10	26%
従来と変わらない	4	10%
受講しにくかった	0	0
受講しにくかった	0	0

Q. どのような点が受講しやすかった(しにくかった)ですか。

選択肢	回答数	構成比
受講したい箇所を選べる点	28	72%
会場への移動がない点	25	64%
1ヶ月間の受講期間でいつでも視聴できる点	19	49%
その他(受講期間をもう少し長くしてほしい)	1	3%
申込方法が複雑な点	0	0%
受講方法が複雑な点	0	0%

2. 東商新聞・同報 F A X ・メールマガジン等での告知

従来の健康経営倶楽部ホームページ、メールマガジン、東商新聞による告知に加え、宣伝動画を制作して令和 2 年 12 月 14 日から公開した。

告知活動	実施時期	対象者
健康経営倶楽部ホームページ	通年	公開
感染症対応力向上プロジェクト宣伝動画 (YouTube)	令和 2 年 12 月 14 日～	公開
東商メールマガジン (健康経営倶楽部メルマガなど)	月 2 回 (通年)	登録者
東商新聞記事掲載	令和 2 年 4 月 20 日	会員 72000 部
東商新聞記事掲載	令和 2 年 9 月 20 日	会員 72000 部
東商新聞チラシ封入	令和 2 年 11 月 20 日	会員 72000 部
東商新聞記事掲載	令和 2 年 12 月 20 日	会員 72000 部
町田商工会議所会報チラシ封入	令和 2 年 12 月 10 日	会員 4200 部
感染症アンケート配布企業への PR※ FAX、テレコール	令和 2 年 7 月下旬～8 月上旬	会員 1447 社
東京商工会議所 就職情報交換会チラシ配布(10 月)	令和 2 年 10 月	参加者約 300 名
健康経営派遣企業へのダイレクトメール	令和 2 年 5 月	約 200 社
同報 FAX (事業説明動画告知兼用)	令和 2 年 8 月	約 44000 社
同報 FAX (事業説明動画告知兼用)	令和 3 年 1 月	約 44000 社

※感染症アンケートは、東京商工会議所の事業として実施

<感染症対応力向上プロジェクト宣伝動画>

The image shows a YouTube video player interface. At the top, there is a search bar with the text '感染症対応力向上プロジェクト'. Below the search bar is a video player with a thumbnail image. The thumbnail features a bright, glowing background with silhouettes of people raising their hands. The text on the thumbnail reads: '職場で始める！ 感染症対応力 向上プロジェクト ~企業とその従業員を守るために~'. Below the video player, there is a caption: '職場で始める感染症対応力向上プロジェクト ~企業とその従業員を守るために~' and a view count: '95 回視聴 - 2020/12/14'. At the bottom right, there are icons for like, dislike, share, and save.

(3) 達成フォロー

1. BCP 策定オリエンテーションの実施（毎月1回）

コースⅡの達成促進のために、平成29年度のBCPセミナーの教材を使用して、平成30年11月から毎月開催し、BCP作成方法を説明する。今年度は、教材を更新した8月から再開し、12月までに6回実施し、50事業所56名が参加した。例年より関心が高く、1回あたり10名近くの参加者がある。コースⅡの達成は、例年年度末が多く、今後の達成が期待される。

日付	場所	参加事業所数（人数）	達成事業所数 （オリエン翌年以降達成）
令和2年8月28日	オンライン	4（4）	1
令和2年9月3日	オンライン	8（8）	
令和2年9月7日	オンライン	6（6）	
令和2年10月7日	オンライン	18（20）	
令和2年11月5日	オンライン	13（13）	3
令和2年12月10日	オンライン	5（5）	
令和2年度合計（6回）		50（56名）※	4
令和元年度合計（10回）		26（31名）※	6（1）
平成30年度合計（6回）		16（22名）※	4（3）

※合計では複数回参加者を除く

2. 保健師による企業フォロー

今年度は新型コロナウイルス感染症のため、企業を支援できる産業保健経験が豊富な保健師の確保が困難であったことから、実施を見送った。

企業からの個別の問合せに対しては事務局にて対応した。また、感染症BCP策定支援に係る動画コンテンツを今後制作予定である。

【参考情報】

訪問者	訪問数	訪問日以降に達成した事業所数（令和2年12月末現在）		
		コースⅠ	コースⅡ	コースⅢ
令和元年度	45事業所	13	5	4
平成30年度	52事業所	14	8	3

(4) 企業等参画状況

1. 申込状況

新型コロナウイルス感染症の影響により、企業の感染症対策への関心が高まり、令和2年2月以降申込みが大幅に増加し、令和2年12月末までに250事業所からの新規申込を受理した。

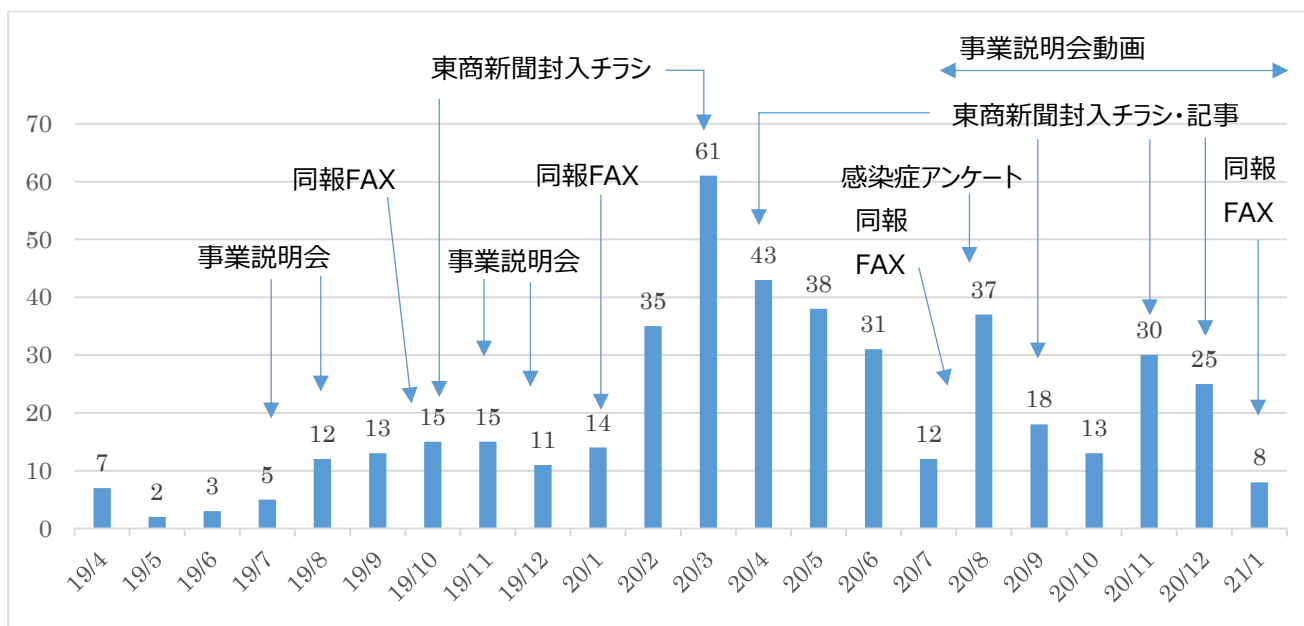
<各年度の申込事業所数>

(1月20日報告分まで)

		コースⅠ	コースⅡ	コースⅢ	合計※	
		従業員研修	BCP作成	風しん対策	延べ数	実事業所数
申込 事業所数	H27年度	70	52	23	145	76
	H28年度	58	45	19	122	72
	H29年度	94	72	21	187	112
	H30年度	114	54	30	198	122
	R元年度	169	103	40	312	193
	R2年度	214	182	55	451	256
	合計	719	508	188	1,415	831

※ 延べ数は、各コース別事業所数の合算。実事業所数はコースの重複を除いた件数。

<申込事業所数の推移>



<今年度の集客イベント実績>

集客イベント	申込事業所	コースⅠ	コースⅡ	コースⅢ
事業説明会動画（令和2年）（令和2年同報FAX含む）	30	25	22	4
福祉保健局HP経由	43	37	27	8
健康経営倶楽部HP経由（WEB・チラシ・メルマガ等）	81	61	63	21
東商新聞 令和2年3月10日（折込）（72,000部）	6	5	5	2
東商新聞 令和2年4月20日（記事）（72,000部）	13	10	10	
東商新聞 令和2年9月20日（記事）（72,000部）				
東商新聞 令和2年11月20日（折込）（72,000部）	25	24	12	2
東商新聞 令和2年12月20日（記事）（72,000部）				
町田商工会議所会報折込 令和2年12月10日（4,200部）				
感染症アンケート配布企業へのPR	4	3	4	
東京商工会議所主催 就職情報交換会チラシ配布（10月）	1	1	1	
健康経営派遣企業・専門家	32	25	24	9
同報FAX（令和元年度）	1	1		
事業説明会（令和元年度）	2	2		1
不明（その他）	18	17	14	8
新規合計	256	214	182	55

2. 達成状況

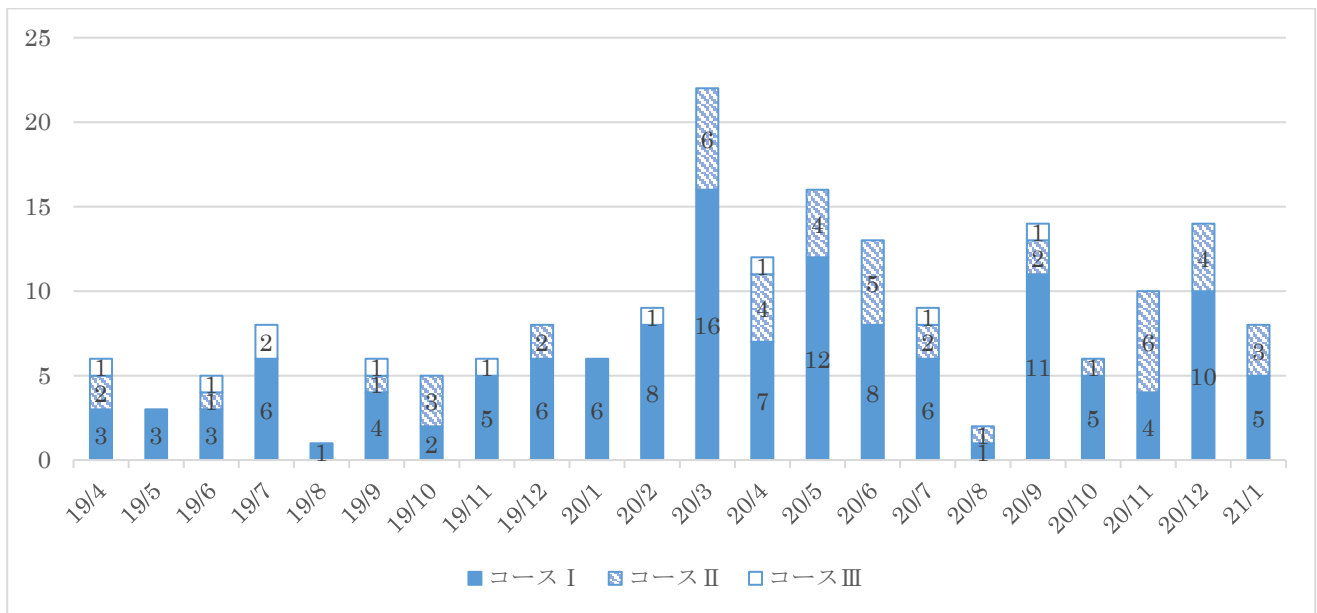
本年は、コースⅠ・Ⅱは、すでに昨年度を超える達成状況となっている。特にコースⅡへの関心が高く、例年の2倍以上の達成が予想される。

<各年度の達成状況>

（1月12日報告分）

		コースⅠ	コースⅡ	コースⅢ	合計	
		従業員研修	BCP作成	風しん対策	延べ数	実事業所数
達成 事業所数	H27年度	11			11	11
	H28年度	30	9	4	43	31
	H29年度	41	17	5	63	46
	H30年度	50	18	3	71	56
	R元年度	63	15	7	85	67
	R2年度	67	31	3	101	76
	合計	261	90	22	374	287

<月別達成状況>



3. eラーニングの実施状況

① 実施状況

eラーニングの申込比率、達成企業におけるeラーニングの比率は大きな変動はない。従業員数が非常に多い企業では、自社のイントラネットやeラーニングを使用する機会が増えている。(令和元年に、3,613名の企業と2,451名の企業が自社のeラーニングで実施) 一方、従業員数が少ない企業もeラーニングを実施するケースもあり、eラーニングとeラーニング以外で学習した事業所の平均従業員数は接近してきた。

<コース I 申込および達成状況>

(事業所数)

年度	コース I 申込数	コース I 達成数	eラーニング 申込数	eラーニング 達成数	eラーニング 申込比率	eラーニング 達成比率※
H28	58	30	38	11	66%	36%
H29	94	41	60	22	64%	54%
H30	114	50	83	24	73%	48%
R 元年	169	63	105	38	62%	60%
R2 年	213	67	137	36	64%	54%

※eラーニング達成数/コース I 達成数×100

<コース I 達成事業所の従業員数比較>

(事業開始から令和2年1月12日までの集計)

分類	事業所数	平均従業員数	最大従業員数	最小従業員数
eラーニング	130	141人	1,693人	1
eラーニング以外	131	125人	3,513人	1

②コンテンツの更新

平成 30 年 10 月より、全問が正しい選択肢を問う問題に修正し、令和元年 11 月から風しんのドリルに厚生労働省の追加的対策に関する問題を 2 問追加した。令和 2 年 8 月からは、新型コロナウイルス感染症を追加した。

■実施者のスコア

平成 30 年 10 月改定で、感染症の基礎知識と風しんのスコアが大きく上がり、全体としても難易度は下がった。その後、スコアは若干上がっているが、傾向は変化していない。

時期	全体スコア	基礎知識	風しん	インフルエンザ	ノロウイルス	新型コロナウイルス感染症
～H30.9	89.5%	88.4%	83.8%	94.3%	91.6%	
H30.10～	92.7%	94.0%	89.9%	95.7%	91.2%	
R 元.11～	94.0%	95.4%	89.6%	97.1%	94.0%	
R2.8～	94.5%	94.8%	90.5%	97.6%	94.7%	95.1%

■受講者アンケート結果

期間：平成 28 年 12 月 20 日～令和 3 年 1 月 14 日

対象：e ラーニング受講者（e ラーニング内で実施）

回収：5,089 件（回収率 9.9%）

【アンケート結果】

平成 30 年の改訂により、わかりにくかったという回答が若干減少したが、全体の傾向には変化はない。

質問	回答	R2.8～	R 元.11～	H30.10～	～H30.9
		(274 件)	(1,374 件)	(1,089 件)	(2,352 件)
		比率	比率	比率	比率
感染症の知識を得るのに役に立ちましたか？	とても役に立った。	42%	45%	45%	52%
	役に立った。	54%	51%	51%	45%
	あまり役に立たなかった。	3%	3%	4%	2%
	まったく役に立たなかった。	1%	1%	0%	1%
選択問題の解説はわかりやすかったですか？	とてもわかりやすかった。	27%	31%	31%	27%
	わかりやすかった。	47%	49%	46%	44%
	普通	22%	19%	22%	25%
	わかりにくかった。	3%	2%	1%	3%
画面の表示は見やすかったですか？	とても見やすかった。	22%	32%	32%	25%
	見やすかった。	51%	48%	47%	48%
	普通	25%	18%	20%	23%
	見にくかった。	2%	2%	2%	3%
	とても見にくかった。	0%	0%	0%	1%

Ⅲ. 今後のプロジェクト推進活動予定

- 未達成企業に対する、BCPオリエンテーション、電話、によるフォロー
- 各種広報活動
動画による事業説明会（～3月）
メールマガジンからの健康経営倶楽部ホームページ、宣伝動画への誘導
その他 動画による感染症対策普及活動 等

以 上